# **<アイディア>**

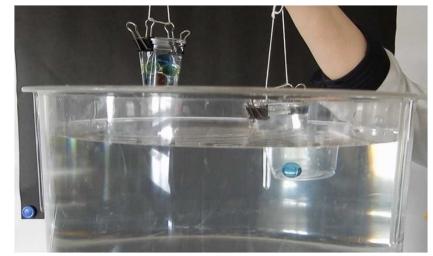
第3学年「(ア)カのつり合いと合成・分解」

力のつり合いと浮力に関する知識を活用しながら, 水中での物体のつり合いに ついて考えることで、全体を振り返って推論する力を育成するためのアイディア

## <学習課題>

# 水中での物体のつり合いは

どうなるの だろうか。



#### <授業展開のイメージ>

生徒が浮力の概念を獲得



空気中でのつり合いについて事象提示



水中でのつり合いについて浮力の学習 で学んだことを活用して予想



検証実験の実施

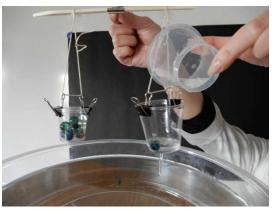


結果について浮力の学習で学んだこと を活用して考察

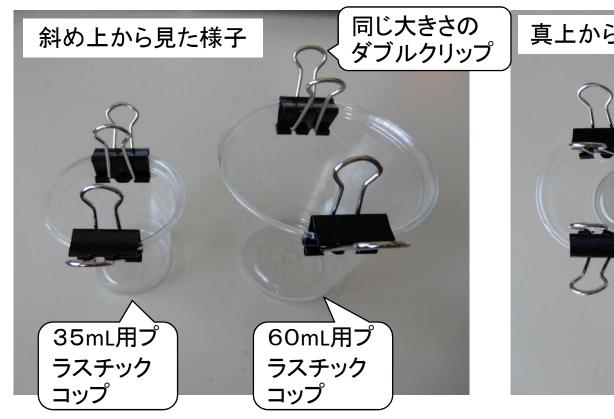


全体を振り返って推論する力の育成



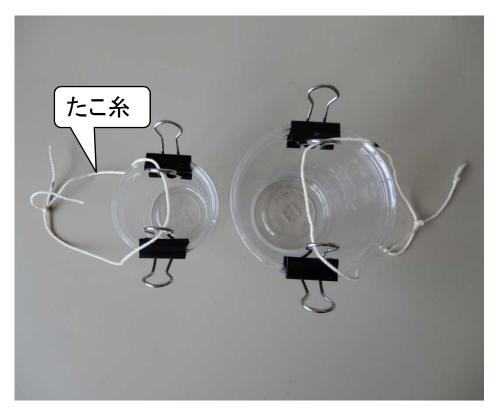








2種類のプラスチックコップを用意し、真上から見たとき およそ一直線上になるよう、同じ大きさのダブルクリップ を取り付ける。



目玉に爪楊枝を通して てんびんのようにしている。



ダブルクリップにたこ糸を通して輪を作る。なるべく同じ大きさの輪に なるとよい。

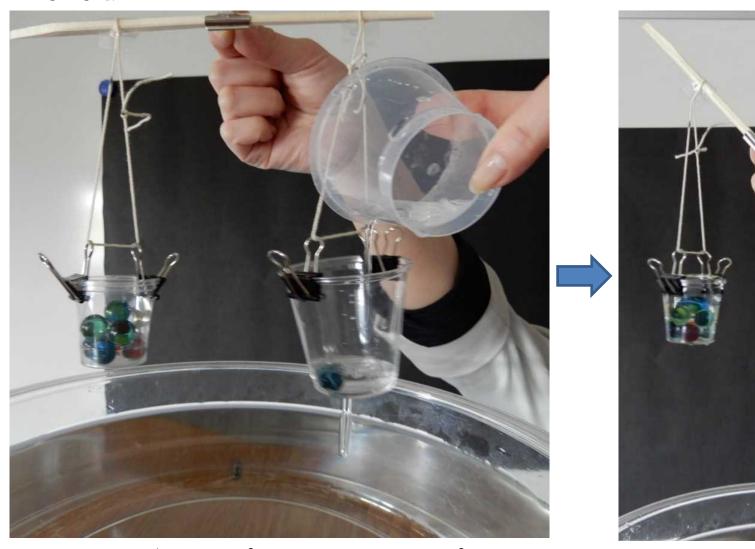
割り箸の中央に目玉クリップを取り付け、輪にしたたこ糸を支点から 等しい距離につるし、粘着テープで貼り付ける。

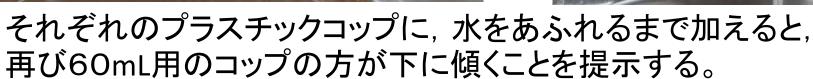
60mL用のプラスチックコップの方が下に傾くことを提示する。

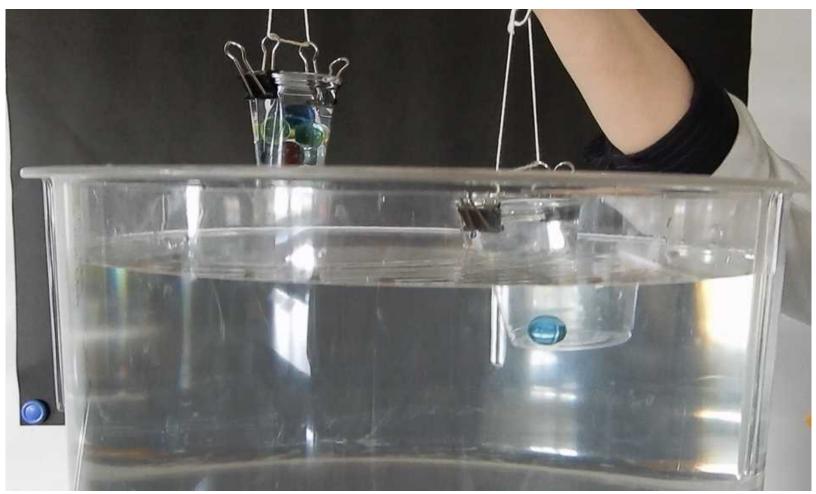


35mL用のコップに8個 のビー玉を, 60mL用の コップに1個のビー玉を 入れると、今度は35mL 用のコップの方が下に 傾くことを提示する。

※ビー玉の大きさにより 適宜個数を決める。

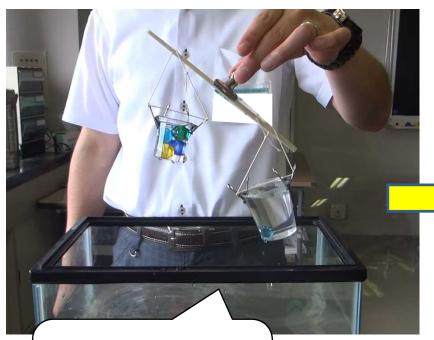






水で満たされた2種類のプラスチックコップをつるしたまま、ゆっくりと 水中に入れていくとつり合いはどうなるのか、浮力で学んだことを活用 して予想させる。

#### 【研修講座でアイディアを体験している様子】



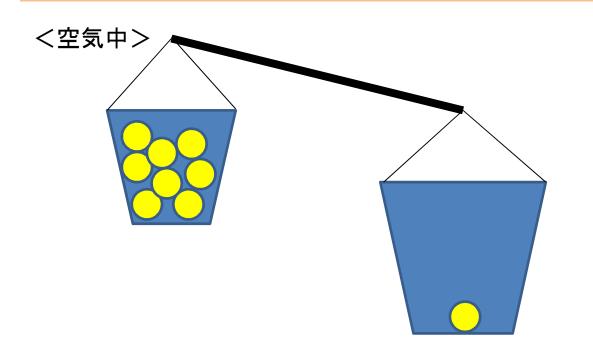
空気中ではてんびん が大きいコップの方 に傾くけれど…。



ということは、コップが水で満たされて

いるから浮力が…。

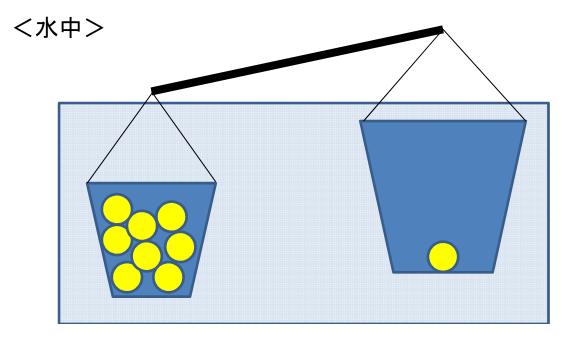
空気中と水中でてんびんの傾きが異なった 理由について、浮力と関連付けて考えている。



小さいコップに働く力 コップの重力+コップ内の水の重力 +ビー玉の重力

大きいコップに働く力 コップの重カ+コップ内の水の重力 +ビー玉の重力

水の重力差が大きく、その分大きい コップが下に傾く。



小さいコップに働く力 コップの重カ+ビー玉の重力

大きいコップに働く力 コップの重カ+ビー玉の重力

コップ内の水の重力と、コップに働く 浮力がほぼ等しいので、水の重力の 影響が小さくなる。

その分ビー玉の重力差が大きくなり、 小さいコップが下に傾く。

# アイディアの有効性

<受講者7名の感想を類型化>

#### 浮力を深く捉えることができるよさに関する感想(3名)

感想例

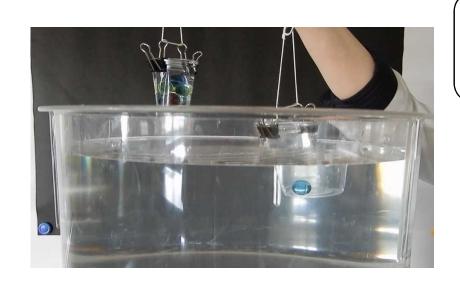
【アイディアを体験しての感想やアイディアの改善に向けての意見を御記入ください】 水に次水に体積に応いて、野か大きまか変化するということを興配人くたさい」 (人だ) とい西、家産も生徒に提示できると、生徒は数学利用い自分を対するできませると ないまた

### 生徒が説明するには難しいとの感想(4名)

感想例

【アイディアを体験しての感想やアイディアの改善に向けての意見を御記入ください】 わかりはいの学羽での振り近りはん分ででやかい湾カの考え方で ばれあという左ざる女はしいと、やった。





水中だから 浮力がはた らくと思うよ。 でもコップは 水で満たさ れているよ。



空気中では ビー玉を入れ ると35mLの 方が下に傾 いたから…。

#### <このアイディアのポイント>

- ・浮力の学習で学んだこと、力のつり合いの学習で学んだことを、総合的に振り返り ながら予想を考えることができる。
- 簡単には予想できないので、学んだことを振り返る必然性を生徒が実感できる。
- 検証実験は簡易で明確である。
- ・予想同様, 浮力の学習で学んだこと, 力のつり合いの学習で学んだことを, 総合的に振り返りながら説明を考えることができる。